

## 外国語科学習指導案

- 1 履修単位数 4 単位
- 2 実施日時 令和7年11月12日（水）第6時限
- 3 学 級 201HR（29名）
- 4 使用教科書 Vivid English Communication II（第一学習社）
- 5 単 元 名 Lesson 9 Invigorating Our Local Community
- 6 本単元で扱う領域における「CAN-DOリスト形式」による学習到達目標（第2学年）

聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと
<p>■ ゆっくりはっきりと話されれば、身近な事柄に関する短い説明の要点を理解することができる。また、身近な話題に関する短い会話を聞いて、概要や要点を理解することができる。</p>	<p>■ 身近な話題に関して平易な英語で書かれた短い説明や手紙を読んで、概要や要点を理解できる。また、日常生活や自分に関連した事柄に関する短い簡単なやり取りをすることができる。</p>	<p>■ 日常生活や自分に関連した事柄に関する短い簡単なやり取りをすることができる。また、身近な話題や興味のある事柄について、ある程度準備をすれば、会話に参加することができる。</p>	<p>■ 身近な事柄や出来事について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができる。また、身近な話題について、自分の意見やその理由を簡単に話すことができる。</p>	<p>■ 自分が必要とする事柄について、短い簡単なメモやメッセージなどを書くことができる。また、身近な事柄について、簡単な語句や表現を用いて、短い説明文やメールを書くことができる。</p>

### 7 単元設定の理由

#### ○教材観

本単元は、高校生や若者が地域社会にどのようにして貢献することができるのかについて、説明文および会話文を通して考える内容である。北海道の高校生が主体となって地域で開催している料理コンテストや地域社会が若者の力を必要とする理由などが紹介されており、生徒たちは自分たち自身がすでに地域社会に貢献できる段階にきていることを認識することができる。また、本学級の生徒たちが学んできた実践的な商業の学びを踏まえて、教材を自分事として捉えることができるため、商業と英語を横断しながら考えることができる。本単元の学習を通して、自分たちが社会に対して主体的に向き合い行動する必要性に気づき、社会への関わり方を変容させようという主体的態度を醸成することが期待できる。

#### ○生徒観

本学級の生徒は、何事にも真面目に取り組もうとする生徒が多い一方、周囲に対しての自己表現が控えめな性格の生徒も多い。英語に対しても苦手意識を抱いているが、クラス内での雰囲気や安心感を覚えており、ペアワークやグループワークの活動の際は前向きに取り組むことができる集団である。「書くこと」においては、主語と動詞の順で基本的な英文を作成することに慣れてきたが、過去形や現在完了形といった動詞の時制を意識しながら表現したり、まとまりのある英文を論理性に留意して書いたりすることはできていない。まとまりのある英文の中で、出来事の説明や自分の考えを相手に適切に伝える言語活動を通して、論理性に留意しながら英文を書く力を養いたい。

#### ○指導観

本単元は、地域社会に対して高校生や若者がいかにして貢献することができるのか理解することができ、生徒たちが自分たちの役割について考える機会を得ることができる。本生徒たちは今年度、徳島の県産品の再発見をテーマに消費者に販売活動を行った。本文理解とともに自分たちが行ってきた取組を振り返り、地元徳島や社会の力になっていることを自覚しながら、喜びを伴った言語活動に生徒たちは取り組むことができると期待する。その上で、自分が経験したことやそれに対する想いについて、読み手に適切に理解してもらえるように、「つなぎ言葉」を使い、論理性に留意しながら、英文を書いて伝える力を養わせたい。

### 8 単元の目標

「徳島県の県産品を販売する活動」の経験について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基

本的な語句や文を用いて、論理の構成に留意しながら、ブータンの高校生にメールを書いて伝えることができる。

### 9 単元の評価規準（「書くこと」の評価規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>〈知識〉 情報や考えを述べるために必要となる語彙や表現、音声等を理解している。</p> <p>〈技能〉 身近な話題（若者の地域社会への貢献）について、情報や考えを理由とともに書いて伝える技能を身につけている。</p>	<p>身近な話題（若者の地域社会への貢献）について、情報や考えを、聞いたり読んだりしたことを基に、理由とともに書いて伝えている。</p>	<p>身近な話題（若者の地域社会への貢献）について、情報や考えを、聞いたり読んだりしたことを基に、理由とともに書いて伝えようとしている。</p>

### 10 指導と評価の計画（13時間）

時間	ねらい（■）、言語活動等（丸数字）	評価			備考
		知	思	態	
1	<p>■単元の目標を理解する。</p> <p>■自分たちが地域社会で行っている学びについて、理解する。</p> <p>①自分たちが取り組んだ販売活動についてペアで話し合う。</p> <p>②現在完了形と受動態の用法について表現を復習する。</p> <p>③商品を販売して感じたことを英文で書く。</p>	指導に生かすことは毎時間行う	一斉に記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動を確実に見届けて		
2 3	<p>■北海道で高校生が行っている地域社会への貢献とその特徴について、説明する。</p> <p>■読み取った内容に関する感想や自分の考えを、周囲の生徒と共有する。</p> <p>①北海道で高校生が行っている地域社会への貢献とその特長について、本文を読んで理解する。</p> <p>②北海道で高校生が行っている地域社会への貢献について、感想をペアで伝え合う。</p> <p>③北海道で高校生が行っている地域社会への貢献について、説明する英文を書く。</p>				
4	<p>■徳島県の深刻な社会問題（人口減少など）について、グループで話し合う。</p> <p>①地域社会が若者の力を必要としている理由について、本文を読んで理解する。</p> <p>②完了不定詞について学習する。</p> <p>③徳島県の深刻な社会問題（人口減少など）について、グループで話し合う。</p>				
5 6	<p>■高校生が地域社会に貢献する方法について、本文を読んで理解する。</p> <p>■「徳島県の県産品を販売する活動」を通して、自分たちが地域社会に対してできたことを確認する。</p> <p>①高校生が地域社会に貢献する方法について、本文を</p>				

	<p>読んで理解する。その際、All you have to do is~の表現について学習する。</p> <p>②「徳島県の県産品を販売する活動」を通して、自分たちが地域社会に対して貢献できたことについて、グループでまとめる。</p> <p>③②でまとめた内容について、キーワードを用いて異なるグループに伝え合う。</p>			
7 ～ 8	<p>■地域社会に貢献している部活動の部員へのインタビューを聞き、高校生がどのようにして地域の人々を惹きつけているのかについて理解する。</p> <p>■日本の人々に知ってほしいブータンの国や商品について、自分の考えを相手に伝える。</p> <p>①地域社会に貢献している部活動の部員へのインタビューを聞き、要点を理解する。</p> <p>②日本の人々に知ってほしいブータンの国や商品について、説明する英文を書く。</p>			
9 (本時)	<p>■「徳島県の県産品を販売する活動」について紹介するメールをブータンの高校生に向けて書く。</p> <p>①「徳島県の県産品を販売する活動」について、取り組んだ感想をペアで伝え合う。</p> <p>②論理的に文章を書くための表現について学ぶ。</p> <p>③「徳島県の県産品を販売する活動」について紹介するメールをブータンの高校生に向けて書き、メールの書き始めの内容とする。</p>			
10	<p>■「徳島県の県産品を販売する活動が徳島にとってどんな貢献になると願っているのか、またなぜそう願うのか」について説明するメールをブータンの高校生に向けて書く。</p> <p>①「徳島県の県産品を販売する活動が徳島にとってどんな貢献になると願っているのか、またなぜそう願うのか」について説明するメールをブータンの高校生に向けて書き、第9時③の内容に続ける。</p> <p>②「販売活動を経験して良かった点」について考えをキーワードで書き出す。</p>			
11	<p>■ブータンの高校生に向けて書いたメールを、生徒用タブレットと生成 AI を用いて自ら校正し、文章を完成させる。</p> <p>■「販売活動を経験して良かったか、なぜそう思うのか」について、ブータンの高校生に向けてメールを書く。</p> <p>①生成 AI を用いて第9～10時に書いた自分の英文の「言語面」について修正すべき箇所を確認する。今回は動詞の時制の使い方について生成 AI の指摘を参考にしながら、書き直す。</p> <p>②第10時②のキーワードを用いながら、「販売活動を経験して良かったか、なぜそう思うのか」について、ブータンの高校生に向けてメールを書く。</p>			

一斉に記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動を確実に見届けて指導に生かすことは毎時間行う。

1 2	<p>■「販売活動を経験して良かったか、なぜそう思うのか」について、ブータンの高校生に向けてメールを書く。</p> <p>①ブータンの公務員の方からのビデオメッセージを視聴し、内容を理解する。</p> <p>②論理的に文章を書くための表現について学ぶ。</p> <p>③第1 1時②で書いた「販売活動を経験して良かったか、なぜそう思うのか」について説明するブータンの高校生に向けたメールを書き直し、第9～10時に書いた内容に続ける。</p> <p>④クラスメイトが書いた英文を読み、コメントを伝える。</p>				
1 3	<p>■ブータンの高校生に向けて書いたメールを、生徒用タブレットと生成AIを用いて自ら校正し、文章を完成させる。</p> <p>①生成AIを用いて第1 2時に書いた自分の英文の「言語面」について修正箇所を確認する。今回は時制の使い方について生成AIの指摘を参考にしながら、書き直す。</p> <p>②高校生が地域社会に貢献するための方法や若者の可能性について、ペアで考えを伝え合う。</p>				
後日	パフォーマンステスト	○	○	○	

1 1 本時の活動（第9時）

(1) 目標

論理の構成に留意しながら、「徳島県の県産品を販売する活動」を説明するメールを、ブータンの高校生に向けて1段落で書くことができる。

(2) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における 具体的評価規準	評価方法
2分	1 挨拶の後、本時の目標について知る。	・全体に挨拶をし、本時の目標について説明する。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>To write an e-mail to Bhutanese students to explain about the experience to sell local products at the shopping mall.</p> </div>				
5分	2 地域の魅力について相手の質問に英語で伝え合う。	・ペアで制限時間内になるべく多くの質問に答えられるように促し、英語を使う姿勢を高める。		
5分	3 「徳島県の県産品を販売する活動」について、ペアで感想を伝え合う。	・既習表現を全体で確認し、相手に考えを伝えられるよう支援する。		
8分	4 「徳島県の県産品を販売する活動」として	・①活動の内容、②自分たちが扱った商品の特長、③販売当		

	自分たちが取り組んだことを、キーワードで列挙する。	日の様子、について生徒に考えさせる。 ・キーワードをどのように英語で説明することができるか、全体で確認する。		
10分	5 「徳島県の県産品を販売する活動」について説明するメールを、ブータンの高校生に向けて書く。	・メールの書き出しを全体で確認し、自分の考えを表現できるように支援する。 ・文法的なエラーを気にせず、情報を増やしていくことを促す。		
5分	6 論理的な文章展開と「つながり言葉」について学ぶ。	・出来事が起こった順序を明確にする語（句）について、全体で確認する。	知 思 態	活動観察
10分	7 5で書いた英文を論理的な展開になるよう書き直す。	・6で学習した表現を積極的に使うよう促す。		
5分	8 目標の達成状況を振り返る。	・本時の目標を再確認し、文章形式で振り返りを行わせる。		

(3) 評価及び指導の例（「書くこと」）

「十分満足できる」と判断される状況(a)	徳島県の県産品を販売する活動について、適切な語句や表現を用い、出来事が起こった順に書いて、相手に正しく説明することができる。
「おおむね満足できる」状況(b)を実現するための具体的な指導	既習事項を振り返り、内容を正しく伝える語句や表現を確認する。また、書くべき情報を全体で整理し、それらを時系列に配置して文章を構成できるよう支援する。
「努力を要する」状況(c)と判断した生徒への事後指導	前時までに書いた内容や既習表現を確認・整理させ、各英文を作成できるよう個別に支援する。また、作成した英文をマッピングして、時間軸を視覚的に確認しながら英文を配置し、「おおむね満足できる」状況(b)を達成できるよう支援する。